

■令和4年度 自己評価

1. 本園の教育目標

豊かな緑に囲まれ、心優しい先生の資質を大切に、
良く整備された環境の中で、
お友達と楽しく過ごす幼稚園生活の中から、
伸び伸びと明るく 元気に、
躰と、けじめのある生活習慣
思いやりのある豊かな心と、がんばる心
を育てることを目標にしている。

2. 重点的に取り組む目標

本園の教育目標の達成に向け、保育内容の更なる充実を図るため、
次の点に重点的に取り組み、健全な心身の育成を目指す。

- ① 教職員の資質の向上及び保育内容の充実
- ② 新型コロナウイルスの感染防止対策と教育機会の確保
- ③ 安心・安全な保育の推進
- ④ ICT化の推進

3. 重点取組項目の達成及び取組状況

- ① 園内研修や毎日のミーティング等を通じて、「明るく優しい笑顔・にこやかなご挨拶・綺麗な言葉遣い・礼儀作法・子ども達への適切な言葉かけ・けじめある指導力」など教職員の資質向上に
取り組み、各クラスの保育の質の向上とレベルの均質化が図れた。
- ② 園児・教職員の健康観察、消毒、換気などの感染対策を徹底し、
園内でのクラスターや感染拡大はなく、保育活動を続けることが
できた。園内感染防止と教育機会確保の両立を図り、園行事はほ
ぼ計画どおりに実施するとともに、保護者参加を段階的に通常体
制に戻した。（お誕生日会への保護者参加再開し、運動会・作品
展・ドッチボール大会等に祖父母の参加も許容。英語参観やスイ
ミング参観も復活 など）
また新型コロナウイルス発生により中止していた、地域交流のキ
ラキラ広場への参加を復活、未就園児向けの園庭開放を開始した。

- ③ 令和 3 年度に実施した専門業者による園庭遊具の点検をもとに、古い遊具を一部撤去し、園のシンボルとなるようなニコニコ山の遊具を設置。残った遊具は専門業者による一部補修を実施した。乗務員マニュアルの改定、アルコールチェッカー導入などにより園バス運行の安全管理を強化した。2 階建ての新館の内扉のガラスに飛散防止シートを付け、老朽化したウッドデッキ撤去により避難ルートを整備、設置後 13 年経過した電話設備を更改するなど防災・防犯対策を実施した。新館の屋上の防水処理を実施した。熱中症対策として、プレイルームにエアコンと大型の空気清浄機を導入した。
- ④ ホームページをレスポンス化や機能追加等大幅に改良し、3 年度末に導入したらくらく園児管理システムの本格稼働とあわせ、園児の出欠管理、園から保護者への通知、保護者から園への連絡の効率化を図る等 ICT 化を推進した。

4. 重点取組項目の総合的な評価結果

- ・ 教職員の資質向上への取組みにより、各クラスの保育の質の向上とレベルの均質化が図れ、子ども達が伸び伸びと成長していく姿が見受けられた。
- ・ 年少・満 3 歳児を中心に少人数クラスで手厚い教員体制に対して、保護者から安心との評価を得た。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策により園内の感染拡大を防止でき、教育の機会を確保できた(園内での感染拡大なし)。
- ・ 園行事はほぼ計画どおりに実行でき、保護者参加も段階的に通常状態に戻すことで、保護者との保育の一体化を推進することができた。特に新型コロナウイルス発生後、園行事に参加できなかった祖父母も参加できる機会を設けることができ、保護者から感謝頂けた。
- ・ 新型コロナウイルス発生により中止していた地域交流のキラキラ広場への参加復活、未就園児向けの園庭開放の開始について、地域活動推進役の方や参加された保護者の方から良い評価を得た。
- ・ 計画的な設備の安全整備により安全で快適な教育環境ができた。古い遊具撤去により導入した遊具のニコニコ山は、子どもたちにも

大変好評で、安全かつ健康な遊びができる園のシンボルのような遊具となった。

- ・ バス運行の安全強化、2階建ての新館の災害・防犯対策強化など、安全管理を推進することができた。
- ・ らくらく園児管理システムの導入で、園から保護者への紙通知の大幅削減や、すみやかな連絡体制ができた。園児の出欠管理のシステム化も実現し、確実な出欠管理実現による安全管理体制の強化を図れた。ホームページ全面リニューアルにより、スマホ対応の見やすいホームページとなり、保護者が見たい色々な資料の掲載、園での子どもたちの活動状況を写真付きでスピーディーに保護者に提供することなどは特に保護者から高い評価を得た。

5. 今後取組むべき課題

- ・ 教職員の質の向上は幼稚園での最重要課題であり、継続して資質向上に取り組んでいく。
- ・ 新型コロナウイルスが2類から5類に移行する予定であり、その変更に対応して、感染拡大防止に努めつつ、教育内容の更なる充実を図る。
- ・ 遊具・設備の適切なメンテナンスを計画的に実施し、より良い環境づくりに取り組む。
- ・ 安全管理・安全教育は、定期的に継続して実施していく必要がある。未就園児の重大事故事例が他園で発生しているプールについては、園でのプールをやめ、パンジョスイミングに一本化するよう準備を進める。
- ・ 園での用品販売をICT化し、現金の授受や管理を削減する。職員事務のICT化による効率化を推進する。

■ 令和 4 年度 学校関係者評価

1. 学校関係者の評価

- ・ 質の高い教育内容、挨拶をはじめ、社会的マナーが身に付いている等、保護者、園医、講師の方々から高い評価をいただいている。
- ・ 保護者に、園の新型コロナウイルス対策を理解・協力していただき、園内で感染拡大した事例はなく、マスク着用可否などの丁寧な通知に対しても理解していただいた。
- ・ 園行事を計画通りに実行でき、保護者参加も段階的に通常状態に戻したことについて、子ども達の思い出に残る行事が出来てよかったと子ども達自身も保護者も喜んでいただいた。行事に久しぶりに参加した祖父母からは、子どもたちの行事を卒業までに見られて本当によかったと喜んでいただいた。

2. 財務状況

公認会計士監査に依り、適正に運営されていると認められている。